

【施策の柱】(1)文化財の保護

細 施 策	①文化財指定等による保護				担当課	担当課評価		
					文化財保護課	C		
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> 私たちの貴重な歴史的財産である文化財を後世に残し、伝えていくために、文化財調査等の実施を通して隠れた貴重な文化財を見だし指定します。 市内に点在する遺跡を埋蔵文化財包蔵地に指定し、包蔵地内で開発工事が行われる際は試掘調査により埋蔵文化財の有無を確認し、確認された場合には工事計画により発掘調査をして記録保存します。 							
前年度の改善の方策等	<ul style="list-style-type: none"> 埋蔵文化財調査は、民間の開発計画に合わせて、実施できるよう今後も努力していきます。 その他の文化財調査については、文化財指定に至らない資料についても、正確な調査を実施し、文化財保護審議会に報告していきます。 調査した文化財は、今後策定を予定している「文化財保存活用地域計画」に反映できるように努めます。 							
令和2年度実績	<ul style="list-style-type: none"> 指定文化財数 266件 埋蔵文化財調査件数 発掘調査件数：4件(前年度比 80%) 試掘調査件数：67件(前年度比 126%) その他文化財調査件数 36件(前年度比48%) 							
成果実績	項目名(単位)	H30	R1	R2				
	文化財調査件数(件)	54	75	36				
指標及び説明	【指標】 文化財数		【説明】 市・県・国指定等文化財数					
指標の推移	単位	基準値 (H26)	実績値					目標値 (R2)
	件	264	H27 266	H28 265	H29 265	H30 266	R1 266	R2 266
現状・課題	<ul style="list-style-type: none"> 埋蔵文化財の発掘調査は前年度比80%の減、試掘件数は前年度比126%の増となりました。埋蔵文化財調査は、民間の開発に伴うことが多く、計画的な調査が実施できないという課題があります。 その他の文化財調査件数は、新型コロナウイルス感染症対策として対面調査をできるだけ避けたので、前年度比48%に減少しました。 							
改善の方策等	<ul style="list-style-type: none"> 埋蔵文化財調査は、民間の開発計画に合わせて、実施できるよう今後も努力していきます。 その他の文化財調査については、文化財指定に至らない資料についても、正確な調査を実施し、文化財保護審議会に報告していきます。 調査した文化財は、今後策定を予定している「文化財保存活用地域計画」に反映できるように努めます。 							

細 施 策	②文化財保護意識の啓発				担当課	担当課評価
					文化財保護課	C
施策の内容	国民の財産である文化財の価値を市民に知らせ理解を深めてもらうために、文化財保護意識の啓発に努めます。					
前年度の改善の方策等	啓発事業は、実施について周知に努めるとともに、内容をさらに充実させます。公民館や学校教育への講師派遣は、今後も積極的に対応します。					
令和2年度実績	<ul style="list-style-type: none"> 遺跡発表会参加者数：27人(前年度比28%)・・・新型コロナウイルス感染症対策として、定員を100名から40名に減らして募集しました。また、周知方法は広報のみとしました。 文化財防火訓練は中止しました。 職員の講師派遣件数：7件(前年度比33%) 					
成果実績	項目名(単位)	H30	R1	R2		
	遺跡発表会参加者数(人)	49	94	27		
	職員の講師派遣件数(件)	20	21	7		
現状・課題	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の影響で、地元からの要請で防火訓練を中止しましたが、消防設備の点検は実施しました。 毎年最新の発掘結果を報告する遺跡発表会は、会場を変更、募集人数を減らすことで開催することができました。 講師派遣は、7件と大幅に減少しました。 					
改善の方策等	新型コロナウイルス感染症が終息した後、啓発事業は、実施について周知に努めるとともに、内容をさらに充実させます。公民館や学校教育への講師派遣は、今後も積極的に対応します。					

【施策の柱】(1)文化財の保護

細 施 策	③無形民俗文化財の保存と後継者の育成				担当課	担当課評価
					文化財保護課	C
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・無形民俗文化財を地域ぐるみで保存継承する体制の確立を支援協力します。 ・後継者育成を積極的に支援します。 					
前年度の改善の方策等	後継者養成や道具の修理については、保存団体に対して、適切に補助金を交付していきます。保存団体からの聞き取り調査をさらに進め、問題点を洗い出して個々の団体に即した改善策を検討していきます。					
令和2年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・民俗文化財保存修理件数：1件(前年度比 -2件) ・後継者養成事業実施団体数：13団体(前年度比 -3件) ・後継者についての聞き取り 2件(前年度比 -14件) 					
成果実績	項目名(単位)	H30	R1	R2		
	民俗文化財保存修理件数(件)	4	3	1		
	後継者養成事業実施団体数(件)	17	16	13		
現状・課題	指定文化財については、後継者養成や使用する道具の修理などに技術的な指導や助言をし、補助金を支出していますが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により行事や芸能練習が中止になった団体があり、後継者養成事業の実施団体数の減少につながりました。同様に感染症の影響により団体に聞き取りをする機会も減少しました。また、依然として、少子高齢化などの影響で、地域の伝統的な祭りや芸能の継承は困難な状況にあります。また、打開策が見いだせない状況です。					
改善の方策等	後継者養成や道具の修理については、保存団体に対して、適切に補助金を交付していきます。新型コロナウイルス感染症の影響により練習ができませんでしたが、後継者養成事業は今後も重要であるため、個々の行事に即した改善策を保存団体と検討していきます。					

細 施 策	④有形文化財の保存と活用				担当課	担当課評価
					文化財保護課	B
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・指定されている有形文化財の維持管理を継続的に行い、その保存に努めます。 ・博物館や関係各課と連携し、その活用を図ります。 					
前年度の改善の方策等	<ul style="list-style-type: none"> ・「川越市の文化財」改訂事業にあわせ、指定文化財の現況を把握するよう努めます。 ・文化財緊急修理に対する補助金を確保するよう努めます。 ・永島家住宅に関しては、長期的な視野のもと、維持管理を行いながら、一般公開していきます。 					
令和2年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・指定文化財保存事業実施件数：29件(前年度比126%) ・永島家住宅(旧武家屋敷)の見学者数：527人(前年度比23%) ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開園日29日(前年50日) ・埋蔵文化財出土品貸出件数：5件(前年度比 100%) ・指定文化財(266件)の現況を把握するカルテ作成のための調査：30件(前年度比40%) ・緊急修理事業：市指定文化財山下家住宅は予備費を充当し、補助金を支出しました。 					
成果実績	項目名(単位)	H30	R1	R2		
	指定文化財保存事業実施件数(件)	30	23	29		
現状・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・指定文化財の所有者・管理者と協力して、文化財を後世に残すために適切な維持管理や、保存修理事業を実施し、公開に努めています。 ・近年、台風や大雪など突発的な災害で、予定にない修理事業に対応する予算の必要性が増えています。実際には補助金を支出できないケースもありますが、令和2年度建造物の緊急修理は対応することができました。 					
改善の方策等	<ul style="list-style-type: none"> ・「川越市の文化財」改訂事業にあわせ、指定文化財のカルテを作成し詳細な現況を把握するよう努めます。 ・文化財緊急修理に対する補助金を確保するよう努めます。 ・永島家住宅に関しては、長期的な視野のもと、維持管理を行いながら、一般公開していきます。 					

【施策の柱】(1)文化財の保護

細 施 策	⑤重要伝統的建造物群保存地区の保存整備事業の充実							担当課	担当課評価
								都市景観課	A
施 策 の 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・伝統的建造物の保存修理など必要な事業を実施し、あわせて保存技術の継承や後継者の育成に努めます。 ・伝統的建造物の耐震化や自主防災体制の整備を検討します。 								
前 年 度 の 改 善 の 方 策 等	保存修理事業を計画的に実施していくため、引き続き伝統的建造物所有者の意向把握や保存対策調査による現状把握に努めます。また、補助金の財源確保のため文化庁等との連絡調整に努めます。								
令 和 2 年 度 績 実	<ul style="list-style-type: none"> ・保存修理事業(国庫補助対象)／小谷野家住宅主屋:左官工事・屋根工事・板金工事 宮岡家住宅店蔵:左官工事 中野家住宅主屋:木工事・塗装工事・建具工事 ・伝統的建造物の追加特定／中島家住宅主屋 ・地区の啓発パンフレット作成／伝建地区の建造物MAP、創作看板パンフレット 								
指 標 及 び 説 明	【指標】 伝統的建造物の修理件数				【説明】 重要伝統的建造物群保存地区保存整備事業における大規模な修理事業の累計件数				
指 標 の 推 移	単位	基準値 (H26)	実 績 値					目標値 (R2)	
	件	57	H27 61	H28 64	H29 69	H30 71	R1 75	R2 78	76
現 状 ・ 課 題	伝統的建造物所有者の修理要望の把握及び保存対策調査を計画的に実施したことにより、修理件数累計が想定目標値を上回っており、順調に進捗しています。								
改 善 の 方 策 等	保存修理事業を計画的に実施していくため、引き続き伝統的建造物所有者の意向把握や保存対策調査による現状把握に努めます。また、補助金の財源確保のため文化庁等との連絡調整に努めます。								

細 施 策	⑥河越館跡の整備・活用							担当課	担当課評価
								文化財保護課	B
施 策 の 内 容	郷土学習の場、市民の憩いの場として国指定史跡河越館跡史跡公園等の整備を継続し、市民や自治会等の公共団体、NPO法人、大学等と協働してその有効活用を図ります。								
前 年 度 の 改 善 の 方 策 等	河越館跡の活用等について、保存管理計画を見据えて、河越館跡整備検討委員会で検討し、さらに文化財保存活用地域計画も絡めて、中長期的なスケジュールを考えていきます。								
令 和 2 年 度 績 実	<ul style="list-style-type: none"> ・道路予定用地を公有化しました。 ・河越館跡史跡公園(未整備地を含む)の活用を目的としたイベント「河越流鏝馬」は、新型コロナウイルス感染症の影響で開催しませんでした。 ・河越館跡整備検討委員会を開催しました。(2回) 								
成 果 実 績	項目名(単位)		H30	R1	R2				
	河越館跡地の史跡公園整備率(%)		30.4	30.4	30.4				
	河越流鏝馬見学者数(人)		3,400	3,800	開催中止				
現 状 ・ 課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・長く協議を続けてきたゴルフ練習場所有の史跡部分の買上げが完了し、令和2年度は、道路予定地の公有化を行いました。今後、ガイダンス施設等予定地の公有化と併せて、市道の付替や活用のための施設に関する検討が必要です。 ・河越流鏝馬は開催できませんでしたが、公有地化に向けて進んでいるのでおおむね順調に進捗しています。 								
改 善 の 方 策 等	<ul style="list-style-type: none"> ・未買収地の買上げを進めます。 ・河越館跡の活用等について、保存管理計画を見据えて、河越館跡整備検討委員会で検討し、さらに文化財保存活用地域計画も絡めて、中長期的なスケジュールを考えていきます。 								

【施策の柱】 (1)文化財の保護

細 施 策	⑦山王塚古墳の整備			担当課	担当課評価
				文化財保護課	C
施 策 の 内 容	国内で最大規模の上円下方墳である山王塚古墳について、未来に伝えるべき貴重な文化財として、国指定史跡とすることを目指します。				
前 年 度 の 改 善 の 方 策 等	山王塚古墳の価値を周知する普及・啓発事業を充実させながら、課題解決に努めます。				
令 和 2 年 度 績 実	<ul style="list-style-type: none"> ・大東公民館で開催された山王塚古墳の講座に職員を派遣し、座学及び現地見学会で説明を行いました。 ・当課主催の現地見学会は、新型コロナウイルス感染症対策のため、中止しました。 				
成 果 実 績	項目名(単位)	H30	R1	R2	
	川越市山王塚古墳調査検討委員会開催数(回)	1	0	1	
	山王塚古墳現地説明会見学者数(人)	102	124	開催中止	
現 状 ・ 課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・調査検討委員会は書面会議を1回開催しましたが、見学会や地元説明会は実施できませんでした。 ・総括報告書をもとに、公民館において、史跡の学術的価値の広報普及活動を行っています。 ・国指定へ向けて庁内の関係部署と調整しています。今後は、庁内調整とともに、地権者や地元自治会等への説明会などが必要です。 				
改 善 の 方 策 等	山王塚古墳の価値を周知する普及・啓発事業を充実させます。庁内調整や地元説明会などを実施し、国指定を目指します。				

【施策】 1 文化財の保護と文化芸術活動の充実

施 策 の 柱	(1)文化財の保護				
施 策 評 価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
	①文化財指定等による保護	文化財保護課	C	B	
	②文化財保護意識の啓発	文化財保護課	C		
	③無形民俗文化財の保存と後継者の育成	文化財保護課	C		
	④有形文化財の保存と活用	文化財保護課	B		
	⑤重要伝統的建造物群保存地区の保存整備事業の充実	都市景観課	A		
	⑥河越館跡の整備・活用	文化財保護課	B		
⑦山王塚古墳の整備	文化財保護課	C			
学 識 経 験 者 意 見 等	<ul style="list-style-type: none"> ・無形民俗文化財の調査等については、高校などと連携し、勉強も兼ねて、若い人たちの力を借りながら、保全に向けた取組ができるとよいと考える。 ・河越館跡については、中世の歴史がそこにあったということを感じられるような保存、整備をしていただきたい。 				

【施策の柱】(2)文化芸術の振興

細 施 策	①連携・協働による新たな文化芸術の創造							担当課	担当課評価
								文化芸術振興課	C
施策の内容	市民、市民団体、NPO法人、企業、大学等との連携や協働により、文化芸術の振興を図るとともに、相互の交流等を通じて、地域の魅力づくりとなる新たな文化芸術の創出に努めます。								
前年度の改善の方策等	新型コロナウイルス感染症への対応等、社会情勢を踏まえた上での実施となりますが、引き続き、文化芸術団体や学校、各種団体と連携・協働することにより、地域の文化や芸術活動を振興するとともに、新たな文化芸術の創出に努めます。								
令和2年度実績	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止・延期となった事業が多くある中、市民や市民団体と連携・協働し、①文芸川越の発行といった恒例事業の他、新たに②『『大地の園』(打木村治著)から100年前の川越を学ぶ事業』を実施しました。 ※中止・延期となった事業(計6件):川越市民文化祭、川越市総合文化祭、2音大クラシック・コンサート、川越市美術展覧会、大学ビッグバンド・ジャズフェスティバル、小江戸川越第九の会演奏会								
指標及び説明	【指標】 協働による文化芸術事業件数				【説明】 文化芸術団体等との協働による文化芸術事業件数				
	単位	基準値 (H26)	実績値					目標値 (R2)	
指標の推移	件	7	H27 8	H28 9	H29 8	H30 11	R1 10	R2 2	10
現状・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・文化芸術団体をはじめ、高校・大学等や各種団体との連携・協働により、文化芸術事業を実施しています。 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、運用や開催方法の見直しが必要となった事業が多数ありました。 ・今後は、定着してきた事業に加え、新たな協働事業に取り組み、安定した事業数を確保していきます。 								
改善の方策等	第九の会については、事業中止になったものの、次年度の開催に向けて一年を通し、新型コロナウイルス感染症対策も含め団体と協議を重ねてきました。今後もこのように、新型コロナウイルス感染症対策を徹底のうえ、文化芸術団体や学校、各種団体と連携・協働することにより、地域の文化や芸術活動を振興するとともに、新たな文化芸術の創出に努めます。								

細 施 策	②若い世代が文化芸術事業に参加しやすいしくみづくり							担当課	担当課評価
								文化芸術振興課	C
施策の内容	高校や大学との連携事業を推進するなど、若い世代が文化芸術事業に参加・活動しやすい環境を整えます。								
前年度の改善の方策等	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、2音大クラシック・コンサート及び川越市美術展覧会は中止となりました。また、作品の減少等により、高校生小説大賞は廃止となりました。今後は、感染症対策を講じた事業の実施について、検討します。								
令和2年度実績	①新型コロナウイルス感染症拡大防止のため2音大クラシック・コンサートは中止しました。 ②新型コロナウイルス感染症拡大防止のため川越市美術展覧会は中止しました。 両事業とともに中止となりましたが、次の開催に向けて対応策等を検討しました。								
成果実績	項目名(単位)		H30		R1		R2		
	2音大クラシック・コンサートの入場者数(人)		899		632		開催中止		
現状・課題	<ul style="list-style-type: none"> ①2音大クラシック・コンサートを開催するにあたり、コロナ禍で若い世代が安心して来場できる環境を整える必要があります。 ②川越市美術展覧会は、令和2年度の開催が中止となったため、次回開催時に出品者が減少することが懸念されます。とりわけ、学生はクラブ活動を通じての出品が多く、クラブ内の出品経験者が減少することから、出品数が落ち込むことが心配されます。 								
改善の方策等	<ul style="list-style-type: none"> ①2音大クラシック・コンサートは新型コロナウイルス感染症対策の一つとして鑑賞人数の定員制限を50%に制限する予定です。若い世代が公演を鑑賞する機会を創出するため、学生招待の枠については十分に確保します。 ②川越市美術展覧会については出品を促すため、更なる工夫をして周知に努めます。 								

施策の柱		(2) 文化芸術の振興			
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
施策評価	①連携・協働による新たな文化芸術の創造	文化芸術振興課	C	C	C
	②若い世代が文化芸術事業に参加しやすいしくみづくり	文化芸術振興課	C		
学識経験者等	<p>・令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により厳しかったと思うが、今後、元に戻そうという雰囲気になってきたときに、どうやって開催していくのかというイメージを持っていただきたい。</p> <p>・市民文化祭については毎年出る団体がほとんど決まっているが、文化芸術活動はコロナ禍から日常を取り戻す意味においても大事な活動だと思うので、既存の団体だけにこだわらず、新しい団体も取り入れていっていただきたい。</p> <p>・公民館まつりについて、地区ごとにウエスタなどに集めて、3館くらいで情報共有しながら、合同で大公民館まつりを開催するなど、新しいかたちでの開催を検討していただきたい。</p> <p>・高校生小説大賞は作品の減少等により廃止ということであるが、ケータイ小説などの短い作品やデジタル作品などを募集すると、応募が増えるのではないかと考える。</p> <p>・今後、若い世代自身が考える参加のしくみや取り組みたい事業などを聞く交流の場などを検討していただきたい。</p> <p>・若い世代が参加しやすいしくみづくりについては、最高レベルの芸術作品を普及させるというような発想ではなく、色々なアプローチで、柔軟な発想で進めていただきたい。</p>				C

【施策の柱】(3)文化芸術に触れる機会づくり

細 施 策	①文化芸術が身近にある環境づくり				担当課	担当課評価
					文化芸術振興課	C
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の文化芸術への関心や理解を深めるため、良質な文化芸術の鑑賞機会を提供します。 ・市民が身近なところで、気軽に文化芸術に触れることができるよう、インターネットやSNS等を活用し、わかりやすく、魅力ある情報の提供に努めます。 					
前年度の改善の方策等	新型コロナウイルス感染症の影響により、事業の実施は困難な状況にありますが、実施される文化芸術イベントの情報収集に努め、文化芸術メールやツイッターなどを活用した積極的な情報提供に努めます。					
令和2年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年度文化芸術振興施設提案事業は全て中止としました。 ・文化芸術メール配信数については、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、中止となった事業が多数あったことに伴い減少しました。 					
成果実績	項目名(単位)	H30	R1	R2		
	文化芸術振興施設提案事業満足度(%)	98.4	99.0	事業中止		
	文化芸術メール配信数(件)	146	92	31		
現状・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・文化芸術振興施設提案事業満足度は、高い水準を保ち順調に推移してきましたが、今後は感染症対策も満足度評価に関わると思われるので、その点にも留意していく必要があります。 ・今後の事業開催に向けては、安全対策を含めた情報提供も必要と考えます。 					
改善の方策等	新型コロナウイルス感染症による事業への影響が引き続き懸念されますが、事業の開催にあたっては、感染症対策を徹底し、文化芸術メールやツイッター等を活用し情報発信を積極的に行います。					

細 施 策	②子どもたちが文化芸術に親しむ機会づくり				担当課	担当課評価
					文化芸術振興課	B
施策の内容	次代を担う子どもたちが、文化芸術を鑑賞し、学ぶことのできる機会の充実を図ります。					
前年度の改善の方策等	実施校数は順調に増加していますが、未実施の学校もあるため、引き続き学校への周知に努めます。					
令和2年度実績	「子どもの文化芸術体験～アウトリーチ」として、小学校にアーティストを派遣し、使用楽器や演奏曲の説明を交えた演奏会を実施しました。当初20校で実施する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、中止となった学校もあり、感染症対策を行った上で演奏会を実施したのは9校となりました。					
成果実績	項目名(単位)	H30	R1	R2		
	アウトリーチ実施校数(校)	18	19	9		
現状・課題	令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響でアウトリーチ実施校数が減少しましたが、実施希望校数は増えており、順調に推移しています。					
改善の方策等	実施希望校数は順調に増加していますが、未実施の学校への周知に努めます。また、コロナ禍において安全・安心に事業が実施できるように工夫します。					

【方向性】 Ⅲ－歴史文化の継承と新しい市民文化の創造

【施策】 1 文化財の保護と文化芸術活動の充実

施策の柱		(3) 文化芸術に触れる機会づくり			
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
施策評価	①文化芸術が身近にある環境づくり	文化芸術振興課	C	B	B
	②子どもたちが文化芸術に親しむ機会づくり	文化芸術振興課	B		
学識経験者等 意見等	PTA活動でも子どもが文化芸術に触れる機会を設けているが、市の施策でも子どもが文化芸術に触れる機会を増やしていただきたい。				

細 施 策	①文化芸術活動への支援			担当課	担当課評価
				文化芸術振興課	C
施 策 の 内 容	・文化芸術活動を行う市民の発表機会の充実を図ります。 ・文化芸術分野で功績のある人や振興に寄与した人への顕彰を行い、市民の文化芸術活動を支援します。				
前 年 度 の 改 善 の 方 策 等	新型コロナウイルス感染症への対応等、社会情勢を踏まえた上での実施となりますが、実施される事業については、安全に実施できるよう、市民の文化芸術活動の支援に努めます。				
令 和 2 年 度 績 実	・川越市民文化祭、川越市総合文化祭、川越市美術展覧会等の市主催事業については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、すべて中止しました。 ・文芸川越第41号を刊行しました。 ・文化芸術分野で活躍する子どもたちを応援する川越市文化芸術かがやき表彰を新設し、受賞者を表彰しました。全27件。				
成 果 実 績	項目名(単位)	H30	R1	R2	
	市民文化祭の事業数(件)	26	24	開催中止	
現 状 ・ 課 題	今後の感染状況の見通しがたない状況ではありますが、各種事業の実施について徹底した感染症対策を念頭に事業の実施形態なども含め検討していく必要があります。				
改 善 の 方 策 等	各種事業の実施に当たっては、新型コロナウイルス感染症の感染状況や、国、県、市の方針等を踏まえ、早期に関係団体等との調整を図りつつ、余裕を持ったスケジュール管理を徹底します。				

細 施 策	②文化芸術活動の場の整備						担当課	担当課評価	
							文化芸術振興課	C	
施 策 の 内 容	市民の芸術鑑賞や活動・発表の場である文化施設やウェスタ川越大ホール等の適切な運営管理を図ります。								
前 年 度 の 改 善 の 方 策 等	・施設の利用に当たっては、引き続き指定管理者と連携し、新型コロナウイルス感染症への対応策を講じ、適切な施設の運営管理に努めます。 ・南文化会館ホールの照明操作卓改修工事を実施します。 ・やまぶき会館、西文化会館、南文化会館の指定管理者選定について、利用者の支障とならないよう円滑に進めます。								
令 和 2 年 度 績 実	・施設の利用制限、入館時や催事の検温、施設使用後の消毒作業などを実施して、感染症対策に努めました。 ・南文化会館ホールの照明操作卓改修工事を実施しました。 ・やまぶき会館、西文化会館、南文化会館の指定管理者選定について、利用者の支障とならないよう円滑に進めることができました。								
成 果 実 績	項目名(単位)		H30	R1		R2			
	ウェスタ川越大ホール区分稼働率(%)		73.0	69.3		19.3			
指 標 及 び 説 明	【指標】文化施設の利用者数			【説明】やまぶき会館・西文化会館・南文化会館・川越駅東口多目的ホールの利用者数					
指 標 の 推 移	単位	基準値(H26)	実 績 値					目標値(R2)	
			H27	H28	H29	H30	R1		R2
	人	311,899	309,023	301,354	280,143	282,212	262,100	94,626	321,000
現 状 ・ 課 題	文化施設の利用者数及びウェスタ川越大ホールの区分稼働率については、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、前年度に比べ大幅に減少しました。								
改 善 の 方 策 等	ウェスタ川越等の利用にあたっては、国や県、市の方針を踏まえ、施設を共同設置した埼玉県や施設を管理する指定管理者と連携し、新型コロナウイルス感染症対策を徹底した上で適切な施設管理に努めます。								

【方向性】 Ⅲ－歴史文化の継承と新しい市民文化の創造 【施策】 1 文化財の保護と文化芸術活動の充実

【施策の柱】 (4)文化芸術活動への支援と文化交流の促進

細 施 策	③文化交流の促進			担当課	担当課評価
				文化芸術振興課	C
施 策 の 内 容	文化芸術関係団体相互の交流を促進し、ネットワークの充実を図ります。				
前 年 度 の 改 善 の 方 策 等	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度川越市総合文化祭は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となりました。 ・川越市文化団体連合会事務局として、各文化団体の活動状況等を情報提供するなど、団体相互の交流機会の促進に努めます。 				
令 和 2 年 度 実 績	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度の川越市総合文化祭は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止としましたが、今後の事業再開に向けた対策等を検討しました。 ・川越市文化団体連合会の会報誌「ときのかね」を発行、各文化団体の活動報告を行うことで団体間の相互理解を深めました。 				
成 果 実 績	項目名(単位)	H30	R1	R2	
	総合文化祭参加団体数(団体)	43	43	開催中止	
現 状 ・ 課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・総合文化祭は、一日に複数の団体が入れ替わり立ち替わりの公演を行うため、通常の発表会やコンサートなどの公演に比べ感染症の感染リスクの高い事業であることから、コロナ禍での開催にあたっては感染症対策の徹底と慎重な判断が必要となります。 ・総合文化祭に限らず、より団体間の交流を深められるような取組の検討が必要と考えます。 				
改 善 の 方 策 等	新型コロナウイルス感染症の感染状況を見極め、事業の実施を検討します。実施にあたっては、感染症対策の徹底が必須となることから、参加団体及び施設側と入念な調整を行います。また、より一層の交流の促進を図るために、どのような取組が必要か川越市文化団体連合会と連絡を密にしていきます。				

【方向性】 Ⅲ－歴史文化の継承と新しい市民文化の創造

【施策】 1 文化財の保護と文化芸術活動の充実

施 策 の 柱	(4)文化芸術活動への支援と文化交流の促進				
施 策 評 価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
施 策 評 価	①文化芸術活動への支援	文化芸術振興課	C	C	C
	②文化芸術活動の場の整備	文化芸術振興課	C		
	③文化交流の促進	文化芸術振興課	C		
学 識 経 験 者 等 意 見	<ul style="list-style-type: none"> ・充実した市民生活を送るため、市民がどれだけ文化芸術における肯定的な影響を受けられるかイメージしながら、文化芸術活動への支援を行っていただきたい。 ・市民の活動を支援するため、文化施設にも無線LANの設置などICTを整備していただきたい。 ・川越市文化芸術かがやき表彰は、文化芸術のすそ野を広げる意味でよい取組だと考える。 				

【施策の柱】(5)美術館の充実

細 施 策	① 展覧会等の充実							担当課	担当課評価
								美術館	C
施策の内容	市民が親しみやすい展覧会の実施や体験型のイベント等を企画し、市立美術館の利用機会の向上を図ります。								
前年度の改善の方策等	新型コロナウイルス感染防止対策を徹底し、引き続き子どもから高齢者まで、幅広い世代が年間を通じて、美術を楽しむことができる展覧会の開催に努めるとともに、広報川越、川越市立美術館ホームページ、メール配信サービス、ツイッター、プレスリリース、ちらし・ポスターの掲示等により広く周知を図ります。								
令和2年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・常設展示室及び相原求一朗記念室については4回の展示替えを行いました。また、タッチアートコーナーについては、3回開催しました。※(春)四家真理子展、(秋)渡辺忍展、(冬)伊藤一洋展 ・特別展は、当初4回の開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止しました。なお、代替として企画した冬季特別展「コレクション大公開 相原求一朗展 アンコール」についても、緊急事態宣言により臨時休館となったため、公開できずに終了しました。 								
指標及び説明	【指標】 ①美術館の常設展観覧者数 ②美術館の特別展観覧者数				【説明】 ①常設展年間観覧者数 ②特別展年間観覧者数				
指標の推移	単位	基準値 (H26)	実績値						目標値 (R2)
			H27	H28	H29	H30	R1	R2	
	① 人	38,934	33,269	41,917	41,431	50,219	35,349	9,133	39,000
② 人	28,718	23,653	27,819	29,472	37,770	23,196	開催中止	30,000	
現状・課題	新型コロナウイルス感染症対策を講じて常設展等を実施しましたが、臨時休館や特別展の中止によって観覧者数が激減しており、進捗はあまり順調ではありません。								
改善の方策等	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、安全に美術館を運営します。 ・引き続き子どもから高齢者まで、幅広い世代が年間を通じて、美術を楽しむことができる展覧会の開催に努めるとともに、ホームページ、SNS、紙媒体を活用し、広く周知を図ります。 								

細 施 策	② 創作活動・発表の場の提供							担当課	担当課評価
								美術館	C
施策の内容	創作活動や発表の場の提供を通じて、市民が芸術活動に参加する機会づくりに努めます。								
前年度の改善の方策等	<ul style="list-style-type: none"> ・市民ギャラリーの利用については、多くの団体が利用できるよう、引き続き有効活用に努めていきます。 ・創作室の利用については、新たな利用団体を獲得すべく、市民ギャラリーの利用者等に周知を図るとともに、現在利用している団体に対しても、夜間帯の利用も可能であることを説明し、さらに利用しやすい施設であることを周知していきます。加えて、SNSでも周知していきます。 								
令和2年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・市民ギャラリーについては、稼働日数138日/年間日数229日(△68日)となっています。 ・創作室については、稼働コマ数171コマ/年間稼働コマ数687コマ(△204コマ)となっています。(1月から3月の臨時休館では、事前予約のある利用については貸出可としました。) 								
成果実績	項目名(単位)		H30	R1	R2				
	市民ギャラリーの年間稼働日数(稼働日数/年間日数)(%)		93.31	91.97	60.26				
	創作室の年間稼働コマ数(稼働コマ数/年間コマ数)(%)		38.02	43.79	24.89				
現状・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の貸出しにあたっては、利用者にわかりやすいガイドラインを設け、利用時における感染予防に努めました。 ・1回目の臨時休館の際に貸出中止としたことや、開館中においても利用を控える団体が多くあったため、新型コロナウイルスの影響で昨年度に比べ実績値が下がっており、進捗はあまり順調ではありません。 								
改善の方策等	<ul style="list-style-type: none"> ・ガイドラインは適宜見直し、利用者が安心して活動できるよう、努めます。 ・創作室と市民ギャラリーの利用が連動するように、それぞれの利用団体にPRしていきます。また、SNSで周知していきます。 								

【施策の柱】 (5)美術館の充実

細 施 策	③教育普及事業の充実と学校教育との連携強化	担当課	担当課評価	
		美術館	B	
施 策 の 内 容	学校教育と連携した教育普及活動を行うとともに、子どもたちが文化芸術活動を体験できる機会の充実に努めます。			
前 年 度 の 改 善 の 方 策 等	引き続き各種事業を実施し、市民が表現・発表・鑑賞する機会を多く設けることで、美術教育に対する理解や認識を広げていきます。			
令 和 2 年 度 績 実	○教育普及事業 21事業 延参加者数 3,705人 ・学校連携(展示、出前講座等) 9事業 2,554人 ・小学生対象講座 5事業 59人 ・一般対象講座 3事業 60人 ・その他(展示等) 4事業 1,032人			
指 標 及 び 説 明	【指標】 川越市立中学校美術部の祭典の参加校数	【説明】 川越市立中学校美術部の祭典に参加した中学校数		
指 標 の 推 移	単位	基準値 (H26)	実績値	目標値 (R2)
	校	20	H27: 21, H28: 20, H29: 21, H30: 21, R1: 21, R2: 開催中止	22
現 状 ・ 課 題	・新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、川越市立中学校美術部展の開催に代えて川越市立中学校美術部第3学年WEB作品展を実施しました。 ・また、新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮して、実施可能な事業に取り組んでおり、事業はおおむね順調に進捗しています。			
改 善 の 方 策 等	新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、各種事業を実施し、市民が表現・発表・鑑賞する機会を多く設けることで、美術教育に対する理解や認識を広げていきます。			

施 策 の 柱	(5)美術館の充実				
施 策 評 価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
	①展覧会等の充実	美術館	C	C	
	②創作活動・発表の場の提供	美術館	C		
③教育普及事業の充実と学校教育との連携強化	美術館	B			
学 識 経 験 者 意 見 等	川越市立中学校美術展に代わるWEB作品展の実施は、コロナ禍において評価できる取組だと考える。				